

大宰府門 びんご フランスマン學者、演劇學者、文學博士。明治二十二年四月一日岡山縣生れ、昭和四十九年一月十一日歿（七八九—一九七五）。大正二年東京帝國大學文科大學佛文料卒。九年フランスマン留學、昭和八年京都市大教授。

著書『佛蘭西文學史』（大正六年一月十八日青社）、『傳統主義

の文學』（大正六年六月二十一日佛

蘭西學會出版部『現代佛蘭西文學叢

書』）、プロスペル・メリメ作『ロ

ンバ―他一篇』（佐藤健一）（新田藤十郎共譯、

大正十一年六月二十日白水社出版

部）、『ゆが』』（Simon Dazai 名

合著・親佛文藝會編、大正十二年十一月二十五日改造社）、『ロマン

チク時代』（大正十四年十一月二十日改造社）、『淨大利紀行』（昭

和二年二月二十日インテータ書院）、『LE PARIS—DES GRANDS ECRIVAIN-

S』（昭和九年四月二十日改造書院）、『カソニーマ』ジヤツメン』（昭

和九年十月十日改造書院）、『隨筆』『瑪蘭樹』（昭和十一年二月十日京

都・人文書院）、『祖國歸郷の旅』（合著、昭和十二年十一月 ビュッセン

イサト、ビエーロー）『ソラ近代作家』（昭和十四年二月二十日弘文堂書房

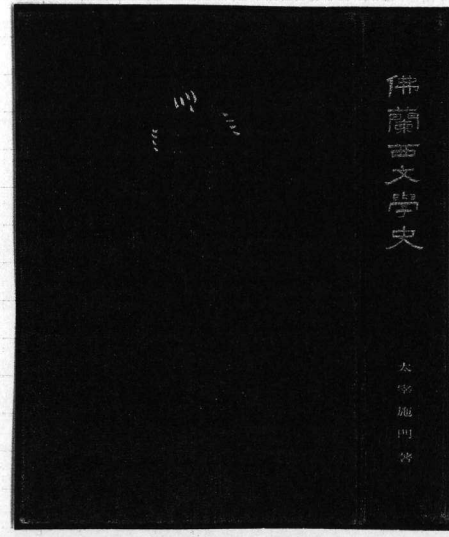
旅行協會）、『ジスルザツク研究』（昭和十五年九月五日京都・教

育圖書株式會社）、『京の田舎めし』（合著・宮崎小次郎編、昭和十

七年五月五日京都・夏文社）、『歌舞伎藝術』（昭和十七年七月二十

日三省堂）、『マンテニス古典悲劇の形成』（昭和十七年九月二十日甲

爲書林）『甲爲書院』（『文学藝文』）（昭和十八年二月二十八日三省



堂)、コバルザツク以後』(昭和十

八年四月二十日京都・山口書房)、

『文藝研究』(昭和十八年八月五日

千歳書房)、『歌舞伎考』(昭和十

八年九月十五日京都・果文社)、コバ

ルザツク『人間の書』(編、昭和二十

年九月五日新人社「人生叢書」)、

『演劇藝術』(昭和二十一年五月十五日生活社「日本叢書」)、コノ

ランス生活』(昭和二十一年七月二十日創元社「百花文庫」)、コノ

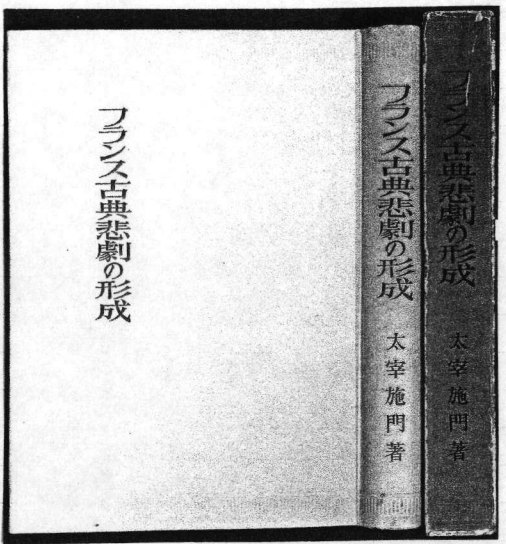
典演劇』(昭和二十一年九月二十五日京都・高橋書院)、隨筆『わが

らノチノ記』(合著・大庭耀編、昭和二十一年十二月十五日京都・比

叢書房)、『讀書の心』學園隨想』(合著・帝國新聞社編集部編、昭

和二十二年二月十日帝國新聞社出版部)、コノランス文學入門』(昭

和二十二年十二月二十日京都・果文社)等。



フランス古典悲劇の形成